

アカゲラ通信



旭山夏鳥到来情報2023

旭山記念公園と旭山都市環境林における2023年の夏鳥到来情報をまとめました。

5月7日現在まだ確認していない夏鳥については来月「野鳥トピックス」にて補足します。

なお、ここでの「夏鳥」とは北海道内で繁殖する種のことで、うち旭山では移動時に見られるだけの種については名前の後に*を付しています。また、カッコ内は2022年との比較です。

1 ベニマシコ* : 3/23 (13日早) 2 ヤマシギ : 3/23 (6日早)

3 ホオジロ : 3/28 (8日早) 4 モズ : 3/31 (同日)

5 キジバト : 3/31 (13日遅) 6 イカル : 4/4 (12日遅)

7 ウグイス : 4/11 (1日遅) 8 キセキレイ : 4/14 (9日遅)

9 クロツグミ : 4/14 (4日早) 10 ルリビタキ* : 4/14 (7日遅)

11 アオジ : 4/15 (3日遅) 12 トラツグミ : 4/18 (12日遅)

13 アカハラ : 4/19 (同日) 14 ノビタキ* : 4/20 (7日遅)

15 メジロ : 4/21 (3日遅) 16 ヤブサメ : 4/24 (9日遅)

17 センダイムシクイ : 4/26 (2日遅) 18 エゾムシクイ* : 4/26 (1日遅)

19 ピンズイ* : 4/27 (2日早) 20 コマドリ* : 4/28 (4日遅)

21 コルリ : 4/28 (同日) 22 オオルリ : 4/29 (4日遅)

23 キビタキ : 4/30 (3日早) 24 コサメビタキ : 5/2 (3日早)

25 チゴハヤブサ : 5/2 (7日遅) 26 ツツドリ : 5/5 (2日遅)

今後到来予定 : アオバト、ハリオアマツバメ、オオムシクイ

5月7日までに到来した夏鳥は26種。前年より±3日以内はその年の小気候に影響される誤差の範囲内と考えて、昨年より4日以上早い=4種、4日以上遅い=10種、±3日以内=12種で、雪解けが昨年より早く、桜の開花も早かった割に夏鳥到来はむしろ遅い傾向にありました。

細かく見ると、3月中に来ていた5種のうち3種は早く到来した一方、4月に入ってからの20種中9種が去年より4日以上遅く、4日以上早いのは1種だけでした。

なお、「夏鳥」のうちクロジは今年は旭山での確かな観察情報はありませんでした。

鳥の渡り、いったいどうなっているのか、毎年、興味深いです。



旭山の桜2023

旭山記念公園の桜、2023年は4月18日に最初の開花が確認され、21日にはもう満開といえる状況になりました。満開は25日まで続きました。(写真は左から4/18、4/21、4/26、4/29)

2022年は開花が4月24日、満開が4月27日から4月30日で、やはり今年は早かったです。



レストハウス「ぼるく」毎日10時開店、
 「金」「土」「祝前日」と「満月の日」は21時、
 それ以外は17時まで営業しています
 噴水も毎日10時運転開始です

レストハウスと展望台一本桜
 2023年4月21日撮影



旭山記念公園レストハウス

旭山野鳥メモ④9ピンズイ

ピンズイ Olive-backed Pipit *Anthus hodgsoni* スズメ目セキレイ科

北海道で夏鳥。開けた場所がある山地で繁殖。旭山では春と秋の移動時期に見られ、春は1週間から10日、秋は数日見られる。春の方が観察しやすい。かつて一度8月に園内で観察されたことがある。

道内では生息地が限られているよう、同じような環境でも地域によっていたりいなかったり。低標高地でもいる場所がある。

雄はホオジロを少しまろやかにしたような声で囁くが、その鳴き声が「ビンビン ズイズイ」と聞こえることが名前の由来といわれており、漢字「便追」は擬声語の当て字であって特に深い意味はないらしい。旭山では囁きが聞かれたことはない。

セキレイの仲間らしく尾を上下に振って歩きながら地面で餌を探す。結構長い距離を歩くこともあります、その姿はネズミのようにも見える。「ツー」という細くて甲高い鳴き声で存在に気づくことがある。

人が近づくと地面からふわっと飛び上がって近くの木にとまり、周りにいた数羽が連れ立って飛ぶ。さらに近づくとまた飛んで逃げるが、すぐには遠くに飛んで行かないで観察しやすい鳥ではある。

英語で「背中がオリーブ色の」と名付けられているが、確かに日陰ではオリーブ色がかかる見える。

ユニークな名前と変わった動き。毎年春、ピンズイに逢えるのを楽しみにしている人は意外と多い。



2023年5月の野鳥トピックス

- ・ジョウビタキ: 4/20に現れました
- ・ムギマキ: 今月中旬に来るか?
- ・シマエナガ: 園内で時々見られています。巣で抱卵していると思われる個体は尾羽の先が曲がっています(右写真)
- ・キビタキ: 囁きを聞く機会が増えました
- ・オオルリ: まだ少ないです
- ・クマゲラ: 園内で時々見られている程度で今年はあまり来ていません
- ・ヤマゲラ: 園内で観察機会が増え雌雄同時に見られることもあります
- ・アカゲラ: 先月よりは目立たなくなっていましたがよく見られています
- ・キクイタダキ: 5月に入って見られなくなりました
- ・ヒレンジャク、キレンジャク: どちらも5月上旬まで見られていましたが、5/7までに見られなくなりました
- ・ウグイス: 園内数か所で囁きしており、木の上にとまって囁く姿を見る機会に恵まれることもあります
- ・カワラヒラ: 木のてっぺんで囁きしています
- ・クロツグミ: 今年は園内での観察情報は少ないです



旭山ミニ図鑑2023年5月



巣やぶでお休み中のエゾタヌキ クジャクチョウ夏まで一度いなくなる エゾエンゴサク今年もたくさん咲いた ワスレナグサ人気上昇中



ミズナラの花

スモモと思われるバラ科の花

1週遅れて咲く遊具広場の謎の桜

八重桜並木の花アップ



「アカゲラ通信」 第115号 2023(令和5)年5月8日発行

(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時~16時) FAX 011-200-0351